

30by30ロードマップ



生物多様性国家戦略関係省庁連絡会議

本ロードマップは、令和4年3月30日に開催された生物多様性国家戦略関係省庁連絡会議において了承されたものです。

30by30ロードマップ概要

キーメッセージ

- **2030年**までに陸と海の**30%**以上を**保全**
- **生物多様性の損失を止め、人と自然との結びつきを取り戻す**
- **地域の経済・社会・環境問題の同時解決**につながる**NbS** (Nature-based Solutions)のための、**健全な生態系**を確保する**基盤的・統合的アプローチ**

本ロードマップの目的

30by30目標達成までの行程と具体策を示す

30by30目標達成のための主要施策と個別目標

- **国立公園等の保護地域の拡張**と管理の質の向上
- **保護地域以外で生物多様性保全に資する地域 (OECM) の設定・管理**
- 生物多様性の重要性や保全活動の効果の「見える化」 等

主要施策を支え、推進する横断的取組

30by30アライアンス／経済的手法／サステナブルファイナンス 等

各主体に期待される役割

国、地方公共団体、事業者、研究機関・研究者・学術団体、民間団体、国民

中間評価の実施

「見える化」により生物多様性保全上効果的な地域を把握・検証、陸域の30by30目標達成の具体的な内容を示す 等

背景と目標達成に向けて

私たちの社会全体を支える生態系サービスは過去50年間で劣化

そのため、生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せる

「ネイチャーポジティブ」に向けた行動が急務

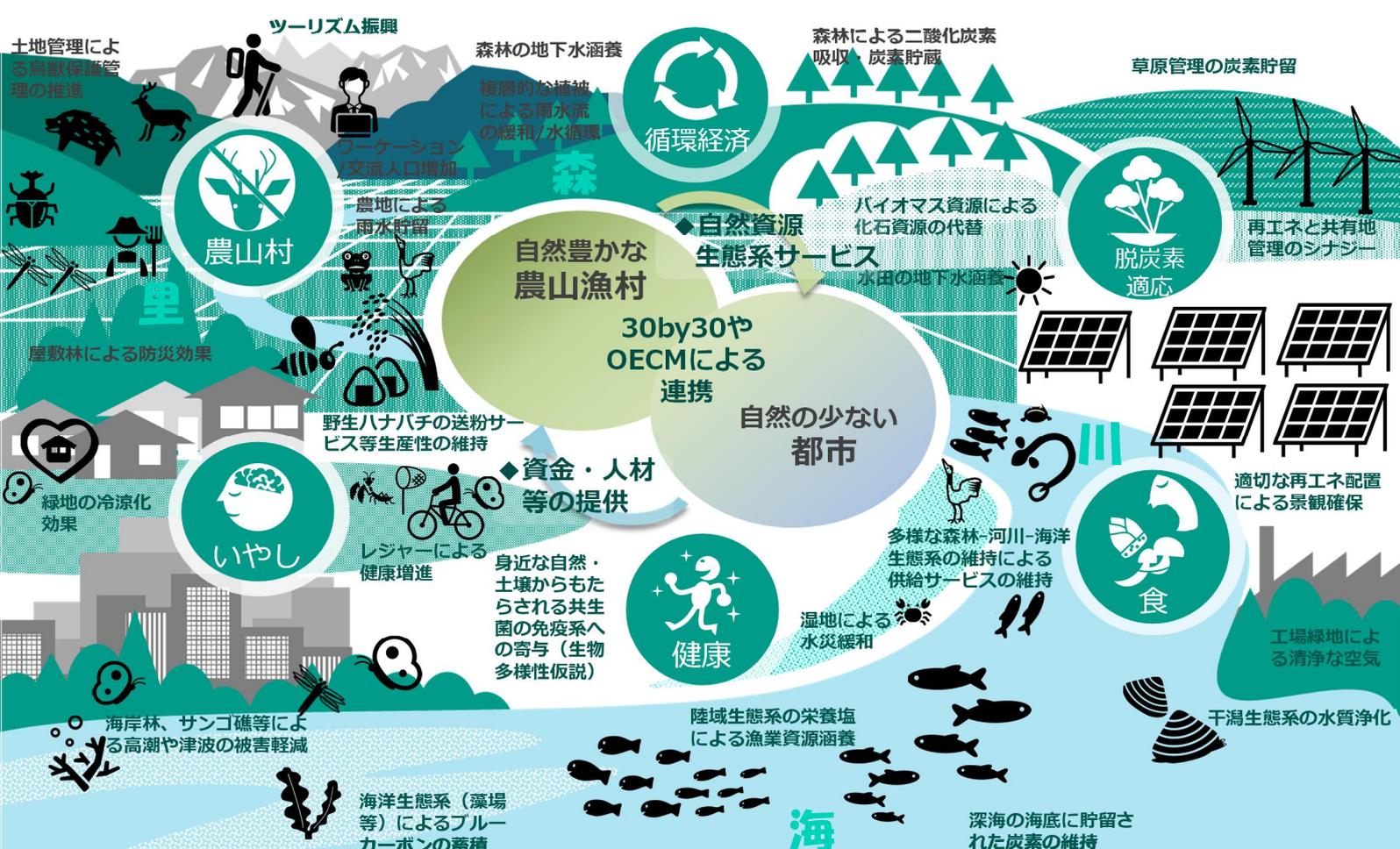
そのような中、2030年までに、陸と海の30%以上を保全する
(30by30) 目標が国際的に議論

その我が国での実現に向けて、国や地域、事業者そして一人ひとりの力を結集し、以下に取り組む

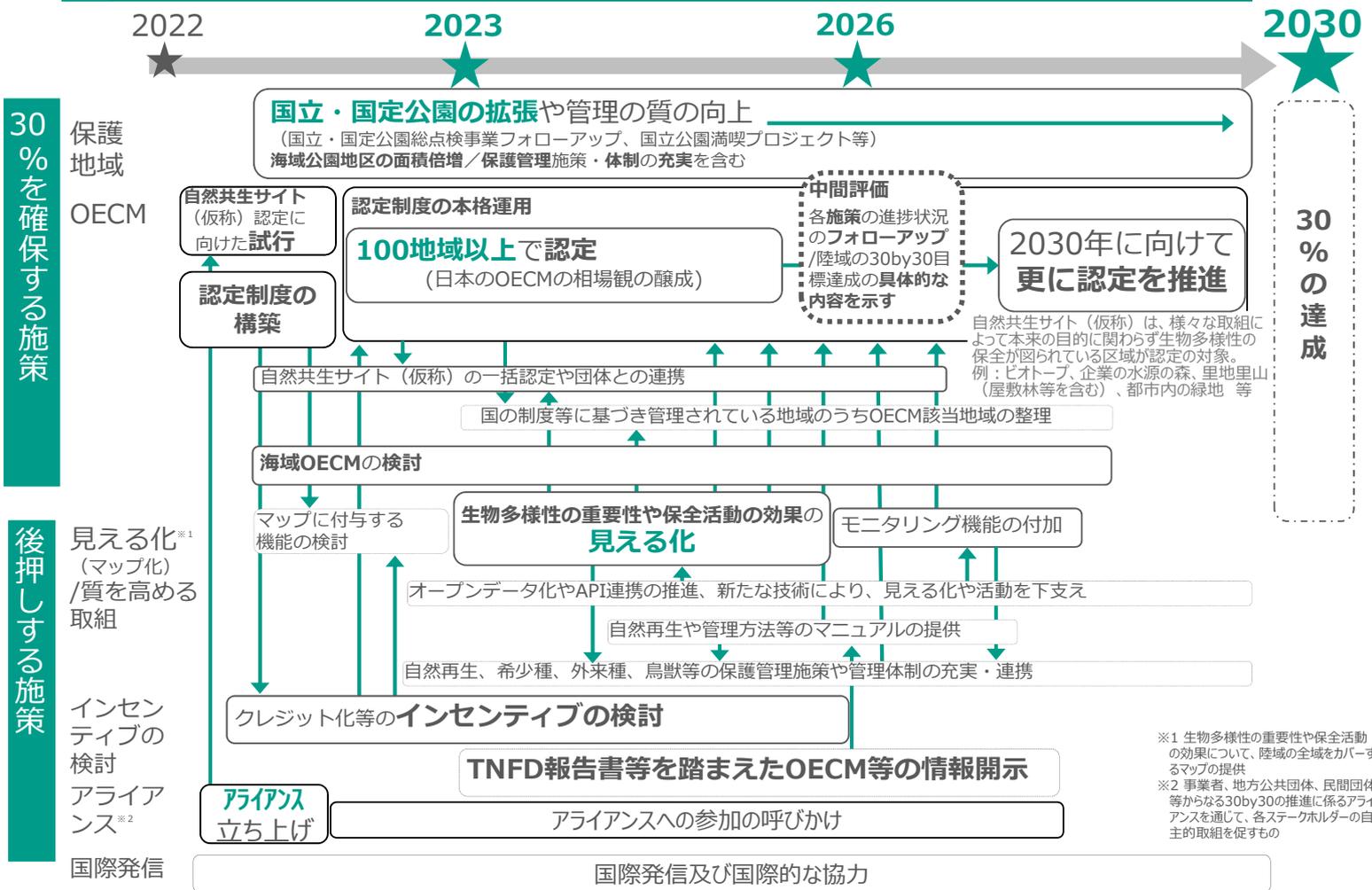
- 国立公園等の保護地域の拡張と管理の質の向上
- OECM*の設定・管理

* OECM : Other Effective area-based Conservation Measures (保護地域以外で生物多様性保全に資する地域)

30by30実現後の地域イメージ ~自然を活用した課題解決~



主要施策と横断的取組の相関



多様なステークホルダーの関わり

